



T S U N A G U

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和6年10月22日

我孫子市小中一貫教育だより
第340号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-小中一貫教育 共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-道徳「みんな だれかに」

我孫子第二小学校の1年生で、Abi-道徳の授業が展開されました。今日の学習のテーマは、「感謝の気持ち」です。教材や自分の体験を振り返り、みんなが誰かの役に立っていることに気づき、周りの人のためにできることを考えます。

まずは、「どんな時にありがとうと言ったり、言われたりしたか」について考えました。考えたことを発表すると、友達から「いいねー」など相手を認める言葉が返ってきました。次に、教材の場面を取り上げ、それぞれの気持ちを考えます。花とハチ、鳥とワニなどの役になりきって実際に演じることで、教材を読んでいただけでは分からなかった両者の関係性や気持ちに気づくことができました。さらに、人間と動物、森や海の中、大きな動物と昆虫など様々なシチュエーションへと視野を広げると、人間・植物・生き物は、色々なところで助け合い、感謝し合っていることが分かりました。最後に授業を振り返り、自分にできることを考え、友達に伝えました。



個別の時間と友達との対話の時間を組み合わせて考えを深め、お互いに認め合う姿がたくさん見られた授業でした。

Abi-ふるさと「布佐地域マップをつくろう」

布佐小学校4年生の総合的な学習で、Abi-ふるさとの授業が行われました。今日のテーマは、自分達で作成したハザードマップを発表し合い、自分たちの地域について理解を深めることです。

ハザードマップは、タブレット端末で通学路の写真を撮影し、そこにそれぞれが気付いたことを記入して作成しました。「どこが」「どのように」危険なのかを友達に分かりやすく伝えようと、班ごとに工夫する様子が見られました。また、地域全体の危険性について知るために、我孫子市が作成している地震ハザードマップなども活用していました。



児童の発表では、建物全壊率マップや交通事故に関する内容が多くみられましたが、単元を通じた授業の中では、洪水ハザードマップや液状化危険度マップなども活用し、14年前の東日本大震災直後の様子を知らない児童が布佐地区への理解を深めていく内容になっていました。

子ども達は、各班の発表を聞き比較することで、同じ地域でも通学路のコースによって危険の内容や確率が異なることを理解しました。